

## 令和3年度第7回土別市教育委員会会議録

1. 日 時	令和3年9月13日（月）午後3時00分～午後4時48分		
2. 会 場	教育委員会 会議室		
3. 出席者	教育長 中峰寿彰	生涯学習部長	三上正洋
	職務代理者 五十嵐紀子	学校教育課長	須藤友章
	委員 馬場千晶	合宿の里・スポーツ推進課長	
	委員 加藤洋之		坂本英樹
	委員 山田敦久	社会教育課長	武山鉄也
		中央公民館長	千葉真奈美

### 4. 議 件（発言者、議事要旨及び議決事項）

#### ○中峰教育長あいさつ

昨日は激しい雨と雷もある一方で、晴れて暖かい日もあるなどの中、確実に秋は近づいており、土別の基幹産業である農業も本格的に収穫の時期を迎えていた。

新型コロナウイルス感染症に関わっては、北海道に対する緊急事態宣言が延長されたことにより、修学旅行や宿泊研修などを延期せざるを得ない状況となり、キャンセル料が発生する事態となっている。先週の金曜日には、土中と南中の体育祭が無観客で実施された。いろいろな人に見てもらえたかったことは残念だが、力を合わせて体を動かし、学校行事としての思い出の1ページになったと思う。また、土曜日には上中と朝中の学校祭が、ともに入場者を限定して開催された。私は、上中と朝中の両方にご案内をいただき観覧してきたが、特に朝中の学校祭はギリギリまで開催について検討され、生徒自身によるアンケート調査や教員、保護者の意思確認のうえ開催が決定したところであり、生徒会長から「学校祭ができないかもしれないと思っていたが、今日開催できて本当に良かった」との挨拶もあった。また、他の生徒からも「今の生徒数は少ないが、生徒数が多くた頃の先輩たちに負けない内容にできた」との話もあり、まさにその言葉どおりの内容だったと思う。中学校3年間の集大成となる素晴らしいダンスを披露するなか、途中からは先生が2人加わって大いに3人の3年生のダンスを盛り上げていた。両校とも、小学校での姿も思い返すと中学校3年間だけでなく、義務教育9年間の集大成を示してくれたとも感じた。我々としても様々なサポートに努め、教員や保護者がしっかりと子どもたちに向かい、充実した時間の中で成長してもらう機会を提供していきたいと思う。

緊急事態宣言の延長はやむを得ないとしても、一般措置区域に対する要請や制限内容についてはある程度見直されるものと思っていたが、飲食店のアルコール提供時間が30分延長された程度だった。本市の社会教育・社会体育施設について、一定の条件を付して限定的に使用することができないか検討しているところ。他市町村の対応も様々であり、市内では部活動や少年団の活動を求める声も出ている。一方で、部活動等の活動再開による感染を心配している保護者もいる。デルタ株が流行する中、合理的な理由や根拠が必要であり、そうでないと保護者はもとより教員の理解も得られないため、まだ結論には至っていない。

昨日は12年ぶりとなる市長選挙の執行の下、投開票が行われ、本日、渡辺英次氏に当選証書が交付

された。15日には、当面の日程や人事を含む急ぎの案件について打合せを行う予定である。選挙公約として示された教育に関する政策についても、その方針を確認しながら、課題整理の下に実現に向けて協議を進めていく。

本日もよろしくお願ひする。

## 1 議事について

### ○中峰教育長 進行

議案第16号 令和3年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告について説明を求める。

### ○三上部長

令和2年度における教育に関する事務について、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき点検・評価するものである。8月31日には、土別市校長会、土別市社会教育委員の会議、一般財團法人士別市体育協会、土別市文化協会、土別市P.T.A連合会の5団体から推薦された委員による「評価委員会」を開催したところ。調書の内容について、各所管の課長・館長から説明する。

(各課長・館長から内容について説明。)

### ○五十嵐職務代理者

昨年と比べて資料の厚さがさらに薄くなった印象がある。重点化や絞り込みのもとにコンパクト化することはベターだが、「事務事業の必要性」の項目で昨年度は「継続」としたものについては本年度も項目として残すべきではないかと思う。例えば、昨年度は「体育協会をはじめとする各種団体との連携強化」の項目があったが、今年は記載されていない。引き続き、強化すべき課題だと思う。

### ○須藤課長

点検・評価の項目については「土別市教育推進の重点」に示している項目としている。継続している事業であっても、重点項目としているものについては、評価調書を作成していない。

### ○坂本課長

評価項目から外れているが、「体育協会をはじめとする各種団体との連携強化」については、各地域の団体を含めお力添えいただく考え方である。

### ○五十嵐職務代理者

コロナ禍の影響で対象項目の取組が実施されていないのではないかと捉えられてしまう可能性もある。

### ○中峰教育長

数年前の本報告書における点検・評価項目は、今回の3倍くらいのボリュームがあった。「土別市教育推進の重点」といいながら、ほぼ全ての項目を掲載していたことから、見直しを行ったところである。重点としている項目については、単独の調書としては作成していないが、関連がある項目の中に盛り込むなどの工夫も必要と考える。そのことで、文字量が増えるとしても、ひとまわり文字サイズを小さくして、追記するなどの修正を加えてもらいたい。

### ○加藤委員

文化センターにWi-Fiが整備されたが、オンライン学習等の利用実績はあるのか。また、いぶきの電波状況が悪いようだが、突然不調になったということか。

### ○千葉館長

いぶきのWi-Fiは平成28年12月に整備したが、能力的に不足しているため、アクセスポイントの

増設を検討している。文化センターの Wi-Fi 利用実態としては、「ふまねっと」の講師が札幌からオンラインで指導を行ったり、GIGA スクール研修の際に活用したところである。職員がサポートして利用者に使用方法を教えており、初めは苦手だった利用者も少しづつ慣れてきている。文化センターには子どもたちが過ごせるようなスペースがないので、いぶきのような活用は難しいと感じている。

○加藤委員

自宅以外でも学習できる場所があると良いのではないか。

○中峰教育長

いぶきの Wi-Fi については、設置当時としては、それなりのスペックだったが、現在の標準的なスペックと比較すると、不満足な状況にある。携帯電話についても、場所によって通信状況が良くない所がある。「市民の主体的な学習活動の促進」に、Wi-Fi の活用状況も記載してはどうかと考える。

○馬場委員

5段階評価の中で、結果として A と B のみであることについて、異論はないところだが、逆に B の理由が気になっていた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、活動が制限されていることが原因であるなら、仕方ないと納得した。「士別市教育推進の重点」については、重複していた内容などを整理したとの説明を受けていたことを思い出した。評価の内容とは違うが、いぶきの使われ方について、ゴミの不適切な放置が問題となっており、自分もトイレの手洗い場にカップラーメンのゴミが放置されていたのを目撃したことがあった。施設は様々な人が利用しているが、残念ながら規則やマナーを守らない人もいることを思い知らされた。

○中峰教育長

点検・評価については、項目数があり過ぎても煩雑になってしまうと考えている一方で、重要な項目が抜け落ちないようにしたい。いぶきの使われ方について、状況の詳細の確認には至っていないが、これらのほかにも、喫煙などの問題があったところ。気軽にに入れることや、良い意味で高校生たちがたむろできる場所として必要と思うが、一方で利用者のモラルやマナーも必要である。

○山田委員

報告書のボリュームや評価内容については理解できるが、スポーツ分野の評価に B が集中しているように感じた。厳密に自己評価した結果であると思うが、現状においては、できる限りの取組をしていると感じており、表現や評価など再考しても良いのではないか。

○坂本課長

KPIなどを含めた目標に対しての評価を考えると、どうしても数値目標が入っている項目は厳しい評価にならざるを得ない。「市民との接点の拡大」については、SNSなどを活用した取組なども行っており、様々な工夫に努めているところ。

○加藤委員

今年であればドイツの合宿受入の取り組みなどがあり、高い評価をしていくべきところもある。

○中峰教育長

「地方創生総合戦略」や「士別市人づくり・まちづくり推進計画」では数値目標を設定しているため、どうしても、その達成状況を基準として示さざるを得ない。

○五十嵐職務代理者

試験のように、基準以上の点数であれば A 評価とするなど一律に判断できればよいが、心情的なところを盛り込む訳にはいかないなど、評価は大変と感じる。

○中峰教育長

数値化することで判断する方法も、一般的・客観的に分かりやすいのは確かであり、ご意見も踏まえて検討したい。道教委や他市町村では全て数値化し、システムティックに評価を行っているケースもある。また、議会での指摘も踏まえ、点検・評価の概要について少し修正した。調書の中の「事業費」の記載方法についても検討する必要がある。

○五十嵐職務代理者

評価なので表示に差があると見方が変わる。事業費が0円だと事業をやっていないように見える。

○中峰教育長

事業費の表示方法は再検討することとする。ご意見のあった内容についても修正することとするが、それ以外の内容についてはよろしいか。

(全員了承)

○中峰教育長

議案第17号 令和3年度土別市教育委員会補正予算について説明を求める。

○須藤課長

緊急事態宣言の延長により、学校行事にも影響が出ている。今月28日から出発する予定だった朝中の修学旅行と土中の宿泊研修が延期となり、それぞれキャンセル料が発生するほか、南小の宿泊研修が10月に延期されたことにより、新たに暖房費が必要となつたため予算の補正を要求する。また、小中学校の暖房機改善事業は、交換作業が実施されているところであり、今後、設計変更の予定がないため入札による執行残額を減額補正する。さらに、新型コロナウイルス感染症検査事業として実施している教職員等のPCR検査について、当初はワクチン接種までの期間に限定して実施する予定であったが、ワクチン接種後も検査を実施する必要があることから、年度末まで期間を延長するとともに、外部講師や全国・全道大会に出場する生徒等も対象とし、必要な経費を要求するものである。

○坂本課長

総合体育館環境整備事業として、トレーニングルームの冷暖房機改修と換気扇設置、サブアリーナの暖房設備の更新を要求する。トレーニングルームには換気扇が設置されているが、換気能力が不足している状況にある。サブアリーナについては換気しながら使用しなければならないが、現在の暖房機は効率が悪く、換気によって室温が急激に低下してしまう状況にあるため、暖房能力の向上を目指すものである。

○中峰教育長

サブアリーナの暖房機設置に関して、具体的にどのような経過と状況にあるかについて説明願う。

○坂本課長

中士別小学校の閉校に伴い、体育館で使用していた遠赤外線式の暖房機を移設した。旧中士別小学校の体育館よりサブアリーナの方が面積は狭いが、暖房機の老朽化のため燃焼効率が落ちており、室内の温度が上がらない状況にある。

○中峰教育長

「ロスナイ」のように室温を下げずに換気できるものの検討は行ったのか。

○坂本課長

サブアリーナは単層ガラスの窓で、一部開閉できない場所もあり、今回の改善策がベターと考えた。

○中峰教育長

札幌市では、修学旅行等のキャンセル料が2億3千万円にも及ぶとの報道があった。キャンセル料のことにより、延期により見学先が限定されてしまう恐れもある。教職員のPCR検査については、なかなか理解いただけない状況もある。ワクチン接種は既往症などにより、したくてもできない場合があるが、PCR検査は、自分自身の事もさることながら、児童生徒や家族などの周囲の人たちなど、他人につきないためにも是非積極的に行ってもらいたいと考えている。

○須藤課長

教育実習に来る大学生にも実施してもらっているところ。

○中峰教育長

保護者にも安心してもらえるものと考えている。9月7日付で、北海道教育委員会から「教職員のワクチン優先接種」についての依頼文が届いた。本市では6月7日の序議で方針を決定し、早い人は7月中旬頃から接種しているところであり、様々な面で、学校での感染を防ぐ取組を積極的に展開している。

## 2 その他について

◇令和3年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

○須藤課長

本年度の全国学力・学習状況調査の本市における結果について、道教委から公表依頼があった。別紙資料として、道教委の考え方、「北海道版結果報告書」の案として示された内容、前回の令和元年度の「北海道版結果報告書」における本市の公表結果等を添付している。また、今年度の調査結果速報についても添付しているが、詳細な内容については、現在、学校教育アドバイザーが分析しているところであり、後日、改めて説明させていただく。

○中峰教育長

学力・学習状況調査の結果は、あくまで特定の時点における結果であり、その結果に一喜一憂すべきものではない。詳しい分析は日を改めて説明する。例年同様、「北海道版結果報告書」に、本市全体の結果を掲載してよろしいか。

(全員了承)

◇当面する今後の日程について

三上部長説明。

○中峰教育長

通学路の安全対策会議については、千葉県八街市において登校中の児童5人が死傷する事故が発生したことに伴い、全道・全国的に実施するものである。各学校でも危険個所を調査しているが、例えば上士別は学校改築によって場所が移り、道道を走行する地域外の来訪者にとって学校の位置が分かりにくい状況にあるところでもあり、交通安全指導員から示されているように、注意喚起等を拡充すべきと思っている。

午後4時48分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者

中峰寿彰

会議録調整者

須藤友章